

Campus Today



第38回 “松濤祭” 豪華ゲストを招きにぎやかに開催

盛況の軽音楽部ライブや各種模擬店 — 学生たちが団結し成功裏に終わる —

本学学園祭、第38回松濤祭が4月29日（水、祝）、キャンパスの病院外来第二駐車場を会場に開催された。場内には学生による飲食や体験が楽しめるさまざまな模擬店やプロのキッチンカーが多数出店。特設ステージでは、軽音楽部のライブや、「スリムクラブ」をはじめとする吉本興業のお笑いコンビ3組によるスペシャルゲストライブも行われ、学生や近隣からの家族連れなど多くの人でにぎわった。

イベントは、松濤祭実行委員会の門司拓磨実行委員長（第2学年）が特設ステージに上がり、「雨が降ると思っていたけれど、晴れてよかった。みんな盛り上げて楽しんでいきましょう」と力強く呼び掛け始めた。会場にはポップコーンやチョコスナック、食べ歩きがしやすい食べ物のお店が多く、どれも人気を集めていた。特設ステージでは、軽音楽部がバンドごとの個性を發揮して迫力ある演奏を届けた。大いに盛り上げた。メインイベントとなる「スリムクラブ」のゲストには、「スリムクラブ」「マルセイユ」「スクールゾーン」の3組を迎えた。スペシャルライブが始まると多くの人がステージ前に集まり、笑顔でステージを見つめた。ベテランの「スリムクラブ」は3番目に登場し、聴衆の反応がやや薄いことを逆手に取ったトークで笑いを誘っていた。



スペシャルゲスト3組6人の軽妙なトークに観衆が沸いた会場

擬店も含めて、学生の団結力を高める機会にもなっている」と、イベントを見守っていた。門司実行委員長は「多くの皆さんのご協力で開催することができて心から感謝している」と話していた。

研修歯科医 37人参加 臨床研修協力型施設の プレゼンテーションを実施

松本歯科大学病院臨床研修において4月23日（木）、本学病院と連携を組んでいる臨床研修



オンラインで行われたプレゼンテーション

協力型施設のプレゼンテーションが、図書館学生ホールにて行われた。

本プレゼンテーションは、10月から4カ月間出向するプログラムIIの研修歯科医のために開催されていたが、研修歯科医のキャリアデザイン教育のため、コロナ禍以来、初期研修時に行われるようになっていた。今回も本年度研修歯科医37人全

保険改定説明会（歯科）開催される

2026年度第1回病院セミナー

5月28日（木）、本学本館7階講堂において、長野県歯科医師会社会保険部の協力のもと、2026年保険改定説明会が開催された。本説明会は、本学病院に所属する歯科医師、歯科衛生士を対象としたものであり、講師には長野県歯科医師会の藤森伸也副会長および中村海基常務理事をお招きし、本年6月に施行される歯科診療報酬の改定に関する主な内容について、配



県歯科医師会の協力で行われた病院セミナー

布資料を用いて分かりやすく、一つ一つ丁寧に説明いただいた。今回の改定では大臼歯のCAD/CAM冠について、従来定められていた咬合支持の要件が撤廃され、すべての大臼歯に保険適応が拡大し、光学印象が認められるようになった。また、新たにCAD/CAMブリッジやチタンブリッジが導入されることにも言及があった。歯周治療においては、従来「歯周病安定期治療（SPT）」と「歯周病重症化予防治療（P重防）」が統合され、新たに「歯周病継続支援治療」に再編、一本化された。その他にも、物価上昇や賃上げへの対応として歯科外来物価対応料が新設されるなど、基本診療料の算定に関わるルールが変更された。

当院では2021年9月から、長野県歯科医師会社会保険部の員が参加した。会を始めるにあたって、音琴淳一研修管理委員長から、本プレゼンテーションをしていただき、協力型研修施設に感謝の言葉があり、研修歯科医に対しては「先生方が歯科医師として医業を考えるときに、将来のキャリアに大変参考になる。歯科医業の業態も参考になるので真摯に聴講していただきたい」というメッセージがあった。

引き続き、今回のプレゼンテーションを希望された17の協力型研修施設に、歯科医院や医療法人としての特徴をそれぞれ15分間行っていた。各プレゼンテーションの後には、今井美恵プログラムII責任者から、各研修施設における強みについて、多様な質問がなされた。16の研修施設のうち、校友の長野県金子歯科医院の金子 至先生方に年数回来学いただき、各歯科医師、歯科衛生士の診療録に目を通した上で、個別に指導をいただいている。熱心な指導により、近年では診療録の内容の不備も少なくなってきただけでなく、増点に直結する処置を積極的に行う意識が各歯科医師に芽生え、これが病院の増収にもつながってきている。今回の改定説明会も、長野県歯科医師会のご厚意により実現したものであり、今後も両者の良好な関係を継続し、当院歯科医師、歯科衛生士のさらなるレベル向上にご協力いただきたいと考えている。

咲き誇るキャンパスのシヤクナゲ



中庭に鮮やかに咲くシヤクナゲ

季節ごとにさまざまな花木が楽しめる本学キャンパスでは例年5月から6月にかけて、シヤクナゲの花が見ごろを迎える。今季も本館玄関前や中庭などで、ピンクや赤のふっくらとした大輪の花を咲かせ、行き交う人の目を惹きつけている。シヤクナゲは「花木の女王」ともいわれ、5月の大型連休以降、日当たりのよい場所にある木から徐々に咲き始めた。大

生（4期生）、静岡県の彦坂歯科医院の彦坂尚英先生（3期生）は直接ご来学の上、研修歯科医へ熱いメッセージをくださった。最後に、今井プログラムII責任者から「今日の説明会はプログラムI・IIに関係なく、歯科医師としての皆さんの選択肢と可能性を感じる機会になったと思います。自分が大切にしたい歯科医療の形を見つけてください」というメッセージが研修歯科医へ送られた。今後、プログラムIIの研修歯科医6人は研修先を検討し、10月以降の協力型研修に臨むことになる。校友の先生方におかれましては、このような機会を、是非新人の研修歯科医へのメッセージを送る機会としてご活用ください。

（研修委員会委員長 今井美恵）
（地域連携推進課長 今井美恵）
（地域連携推進課副課長 今井美恵）
（初診室 今井美恵）
（初診室 今井美恵）

理事会報告

2025年度事業報告、決算等を承認

学校法人松本歯科大学の第222回理事会が5月28日(木)、本部館3階会議室で開催された。2025年度事業報告など各上程議案を審議し、いずれも全会一致で原案どおり可決、承認した。本理事会の審議事項は、6月に開催を予定している第157回評議員会(定時評議員会)で報告する。



第222回理事会

【主な会議事項】

- 2025(令和7)年度事業報告について
 - 2025(令和7)年度決算について
 - 定時評議員会の開催について
- 〔2025年度事業報告概要〕
- Ⅰ. 教育・研究
- 歯学部
 - ①歯学部教育の質の保証と向上
 - ・進級判定、卒業判定ともに判定基準を明確にし、客観性のある厳格な成績判定を実施した。
 - ・研究者養成のための研究入門プログラムとして、2年次に「歯科医学研究A」、3年次に「歯科医学研究B」を開設し、未来の歯科医療を拓くリサーチマインドの養成を行った。
 - ・各学年に学年主任と補佐を5(7)人程配置し、学生の修学状況の把握や、学習及び学生生活の相談に応じ、学生をサポートした。また、科目・授業担当者にはオフィスアワーの設定を義務付け、授業等の質問に個別に対応した。
 - ・FDを2回開催し、教員の教育力の強化に努めた。
 - ②退学者、除籍者の低減
 - ・学生相談室に非常勤カウンセラーを配置し、カウンセリングは
 - ②大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所
 - ・大学院の入学定員充足率向上増加した。また、必要に応じて学生部長、保健師、カウンセラー、学事室の間で情報交換を行い諸問題に対応した。
 - ・学業成績が良好で経済的理由により修学が困難な学生に対し、日本学生支援機構の奨学金制度や文部科学省の高等教育の修学支援新制度、大学独自の奨学金制度等による経済的支援を行った。
 - ③標準修業年限内での卒業率の向上
 - ・初年次教育では、一方向的な授業だけでなく、双方向的、協働的な授業(入門歯科医学等)を通じ、受動的な学習から、能動的で自律(自立)的な学習への転換を目指した。
 - ・各学年に学年主任と補佐を5(7)人程配置して、学生の修学状況の把握や学習及び学生生活の相談に応じ、学生をサポートした。また、授業担当者にはオフィスアワーの設定を義務付け、授業等の質問に個別に対応した。
 - ④現役学生の歯科医師国家試験合格率の向上
 - ・初年次教育による動機付け、厳格な成績判定、学年主任制度によるサポート体制の強化等、入学から卒業までの一貫したシステム整備により、第119回歯科医師国家試験の現役学生(新卒)の合格率は50人、合格率80.6%であった。(私立歯科大学17校の中における現役国家試験合格率は第9位。)

リサーチ・アシスタント制度により3人を採用した。

3. 松本歯科大学衛生学院

①授業内容の改善

- ・各期末に授業評価アンケートを実施した。
- ・学生からの個別の意見、要望等については担当教員にフィードバックし、評価結果については、イントラネット上で公表した。
- ・授業の配当時間等について見直しを行い、2025年度に一部履修基準表の変更をした。
- ②新卒者の歯科衛生士国家試験の全員合格
 - ・大学院への進学に関して、学部の新卒者に加え社会人と外国人の入学希望者にも対応するため、一般選抜のほか、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、秋期選抜試験を実施した。
 - ・2025年度に実施した入試による入学者は、秋期選抜が4(留学生2人含む)、2026年春期入学が10人(留学生3人含む)であった。

Ⅱ. 病院・診療

- ①人材の育成
 - ・歯学教育モデル・コア・カリキュラムの方針に沿い、基礎実習からスムーズに臨床実習へ移行できるように病院としての協力体制を確認した。また、歯科医師臨床研修制度の評価基準を、厚生労働省の基準更新に合わせて評価基準を改定し、特に360度評価を取り入れて、指導医の他、歯科技工士、歯科衛生士、看護師などの診療室スタッフの評価も行った。
 - ・大学院生の指導は、複数教員指導体制とし、主指導教員は、履修指導や研究テーマの設定をはじめ、学位論文の作成着手から完成に至るまでの研究指導の主体的任務を果たし、副指導教員は、主指導教員と連携し研究の推進にあたった。
 - ④研究者、大学教員の養成
 - ・ティーチング・アシスタント制度により2人を採用した。

討を行った。医療収入は増加したが、治療材料費等の高騰を受け、経費率の明らかな改善には至っていない。

②医療収益の向上

- ・病院長、副病院長、事務長と各診療科長が医療収入と支出の見直しの検討を行い、前年と比較して経費率の改善を図った。一方で、医師の欠員に起因する医療収入の減少を埋め合わせるまでには至らなかった。
- ・医薬品の供給不足・欠品状況をイントラネットや薬剤委員会等で情報共有し、代替薬への処方変更にも努め、院内薬剤の適正な在庫管理を徹底した。
- ③病診連携及び病病連携の強化(特色ある医療体制の確立)
 - ・健診センター受診者数の増加のための改革案を作成し、施設・人員の調整を行った。
 - ・健診センターのパンフレットを刷新し、院内外で配布し、病院のホームページや待合室のデジタルサイネージで情報を発信した。
 - ④医科歯科連携の充実
 - ・歯科ドック受診者のX線写真から骨粗鬆症所見がある場合の医科(整形外科、内科)

令和7年度資金収支計算書および令和8年度予算書 (令和7年4月1日～令和8年3月31日) (令和8年4月1日～令和9年3月31日)

科目	令和7年度決算	令和8年度予算
収入の部		
学生生徒等納付金収入	2,063,126,600	2,045,700,000
手数料収入	22,888,974	22,200,000
寄付金収入	16,088,000	10,200,000
補助金収入	255,700,236	250,000,000
資産売却収入	478,835,000	477,900,000
付随事業・収益事業収入	1,671,448,960	1,700,200,000
受取利息・配当金収入	74,657,316	60,800,000
雑収入	82,564,672	69,000,000
借入金等収入	0	0
前受金収入	316,166,400	232,400,000
その他の収入	1,264,263,940	1,208,700,000
資金収支調整勘定	△ 455,356,289	△ 469,600,000
前年度繰越支払資金	1,561,623,104	1,068,054,000
収入の部合計	7,352,006,913	6,675,554,000
支出の部		
人件費支出	2,441,708,359	2,440,200,000
教育研究経費支出	1,620,229,419	1,580,400,000
管理経費支出	770,584,313	877,200,000
借入金等利息支出	3,277,842	3,278,000
借入金等返済支出	0	0
施設関係支出	111,134,972	188,500,000
設備関係支出	211,161,142	186,100,000
資産運用支出	206,933	0
その他の支出	1,431,997,273	1,389,800,000
[予備費]	0	0
資金支出調整勘定	△ 367,684,471	△ 452,500,000
翌年度繰越支払資金	1,129,391,131	462,576,000
支出の部合計	7,352,006,913	6,675,554,000

科目	本年度末	前年度末
資産の部		
固定資産	12,787,519,299	13,306,400,711
有形固定資産	11,721,994,377	12,109,733,321
土地	3,908,075,598	3,908,075,598
建物	5,559,889,004	5,885,091,231
その他の有形固定資産	2,254,029,775	2,316,566,492
特定資産	105,940,831	105,733,898
その他の固定資産	959,584,091	1,090,933,492
有価証券	584,959,000	711,459,000
長期貸付金他	374,625,091	379,474,492
流動資産	1,450,407,909	1,881,009,985
現金預金	1,129,391,131	1,561,623,104
その他の流動資産	321,016,778	319,386,881
資産の部合計	14,237,927,208	15,187,410,696
負債の部		
固定負債	1,155,200,642	1,269,932,938
流動負債	1,086,346,405	916,852,724
負債の部合計	2,241,547,047	2,186,785,662
純資産の部		
基本金	41,118,148,434	40,823,349,450
繰越収支差額	△ 29,121,768,273	△ 27,822,724,416
純資産の部合計	11,996,380,161	13,000,625,034
負債及び純資産の部合計	14,237,927,208	15,187,410,696

への受診経路を構築し、医科と歯科のデータ共有システムのトライアルを進めた。

Ⅲ. 管理・運営

- ①施設・設備の維持管理
 - ・施設・設備の維持について安全面を考慮し必要不可欠なものから、予算計画に基づき工事及び修繕を行った。計画的な機器の修理、更新、改善策を検討実施して、管理の効率化とコスト削減をしつつ維持管理を行った。
 - ②省エネルギー対策
 - ・エネルギー管理標準を基に合理的なエネルギー管理を日々行うとともに、毎月一回エネルギー管理業務支援会議を開催して、各建物のエネルギー1ヶ月間検針記録を基に、毎年同月比での増減原因が何処にあるのかを探り、増加したエネルギーに関しては原因解消を図って、エネルギー消費原単位の低減に努める。
 - ③図書館
 - ・機関リポジトリのシステム改変は、当館のみならず国内の

大学全般で苦慮している現状であるが、学位論文に関して2024年度取得学位論文12件の登録・公開ができるようになり、今後も引き続き整備を重ねていく。

④学生募集・広報活動

- ・ホームページやウェブ広告、新聞、雑誌などの各種メディア・広告媒体を通じて、2026年度より大幅に減額される新たな学費体系、歯科医師国家試験における新卒合格率90%以上の維持、特徴的な独自の学生教育システムについてなど、本学に関する情報を積極的に発信し、受験生及び保護者、社会への周知に努めた。
- ・一日体験入学は5月より全11回実施。84組186名が参加し、参加組数は対前年度比123.5%となった。また、一日体験入学以外にも個別の大学見学について対応を行った。
- ・2026年度入試での第1学年志願者数は309人、入学者数は112人で入定員者を充足した。

大学院セミナー
講演テーマは「栄養摂取と疾患」

秋田栄養短期大学栄養学科
 栄養学・准教授の千田栄登佳先生を講師にお迎えし5月18日(月)、大学院セミナーを創立30年記念棟で開催した。千田先生は、栄養学分野において地域差や世代差に着目した研究を続けておられ、「栄養摂取と疾患」と題してご講演された。



講演された千田先生(右)と筆者

講演ではまず、栄養摂取状況と疾患との関連について解説された。地域差の観点から、秋田県と比較して長野県では野菜摂取量が多いことに着目し、その結果として脳血管障害や腎不全の罹患率の改善、さらにはメタボリックシンドローム患者数の減少がみられることを紹介された。また、日本人の食事摂取基準や望ましい食生活についても、具体例を交えながら説明された。

さらに、世代別にみた栄養摂取と健康障害についても取り上げられた。若年女性では「やせ」、中年男性では肥満、高齢者では低栄養が問題となっており、栄養摂取に関する課題は世代や性別によって異なることを、BMIや体重の特徴を踏まえて解説された。加えて、栄養摂取と歯

科との関連についても触れられ、う蝕や歯周病を例に、日常の食生活が口腔の健康に大きく関わることを示された。栄養摂取は国民すべてに関わる重要な課題である一方、食生活への意識不足が健康障害につながる場合も少なくないことを指摘された。

こうした背景を踏まえ、秋田県における市民向け栄養指導の取り組みや、本学と共同で実施された「カムカム健康プログラム」についても紹介された。さらに、将来的にはスーパーマーケット等とも連携し、食形態にも配慮した取り組みへ発展させたいとの展望を語られた。講演後には活発な質疑応答も行われ、参加者からの質問に対して千田先生が丁寧に回答された。若手歯科医師をはじめ、多くの参加者にとって大変有意義なセミナーとなった。



第3学年生から体験実習の説明を受ける参加者

今回の講演は、歯科医療は口腔の健康を守るだけでなく、その先にある適切な栄養摂取を支えることで全身の健康にも寄与していることを改めて認識する機会となった。また、歯科医師が栄養指導等に関わる重要性についても理解を深める貴重な機会となった。

〔採用〕
 須澤 弘子(病院外来事務) 4月1日付
 (保健科・調剤(派遣職員))
 4月20日付
 竹内 美咲(実(調剤)費(派遣職員)) 4月8日付
 (配置換) 黒岩 博子(調剤科) 4月8日付

〔6月行事予定〕
 4日(木) 諏訪社・稲荷社例祭
 6日(土) 第50回解剖諸霊位慰霊祭
 8日(月) 第50回実験動物供養祭
 13日(土) 一日体験入学(衛生学院)
 14日(日) 一日体験入学(衛生学院)
 15日(月) 一日体験入学(衛生学院)
 24日(水) I期試験(第5学年)
 30日(火) 発表会(大学院)
 30日(火) II期試験(第6学年)

Alumni News
 松本歯科大学校友会

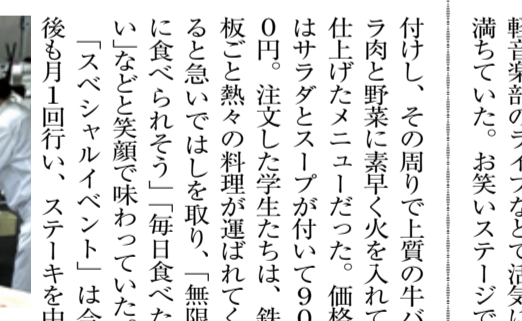
岐阜県支部
 11期生・岩田哲也副支部長が講演
 「第68回 岐阜県学校歯科保健研究大会」について

前日の大雨が嘘のように好天となった4月5日(日)、令和8年度松本歯科大学校友会岐阜県支部総会・講演会・懇親会を、多治見市の「日本料理 澤千」にて開催し、県内各地から会員15人が参加しました。

多治見市は、1400年の伝統ある美濃焼発祥の地で、職人たちが体力消耗を補うためうなぎを食べる習慣が生まれ、タウニンキムラタリといううなぎがモチーフの「うなぎがっば」が生まれました。会場はうなぎ料理の有名な店です。

総会は、恩田真司支部長(7期生)の開会のあいさつで始まり、藤井健司会員(28期生)を議長、伊藤三智大会員(2期生)を副議長に選出して報告や協議を行いました。

総会終了後、岩田哲也副支部長(11期生)を講師に「第68回岐阜県学校歯科保健研究大会」について講演を行いました。今大会は、岩田先生の所属されている見聞歯科医師会が主催で、11月8日(日)に開催されますが、その中でご本人の学校歯科担当校が研究発表することになった経緯や発表の進捗状況などを話されました。また、座長の恩田支部長が県学校歯科保健の歴史



参加された岐阜県支部のメンバー

科との関連についても触れられ、う蝕や歯周病を例に、日常の食生活が口腔の健康に大きく関わることを示された。栄養摂取は国民すべてに関わる重要な課題である一方、食生活への意識不足が健康障害につながる場合も少なくないことを指摘された。

〔お知らせ〕
 第101回松本歯科大学学会(総会)開催
 日 時: 7月2日(木)
 会 場: 評議員会・総会: 601教室 16:30~
 一般講演: 本館1階学生ラウンジ 17:30~18:00
 プログラム: 一般講演(ポスター発表のみ)
 お問い合わせ先: 川原 一郎
 ichiro.kawahara@mdu.ac.jp

学園祭にも参加し学生生活を体感
 衛生学院 一日体験入学

2026年度の衛生学院一日体験入学は4月29日(水・祝)に1回目が行われた。学校推薦型選抜が始まる10月までに全4回開催される。

衛生学院の現状や理解を深めてもらうため、充実したプログラムを提供する「一日体験入学」には、県内各地から多数の参加があり、本学院への高い関心が見られた。

初めに、金銅英二衛生学院院长が「本学衛生学院は、大学病院に隣接する恵まれた教育・実習環境を活かし、未来の歯科医療を担う専門医療人を育成していきます。本日は見て、触れて、感じて、今後の進路の参考にしてください」とあいさつした。

〔採用〕
 須澤 弘子(病院外来事務) 4月1日付
 (保健科・調剤(派遣職員))
 4月20日付
 竹内 美咲(実(調剤)費(派遣職員)) 4月8日付
 (配置換) 黒岩 博子(調剤科) 4月8日付

〔6月行事予定〕
 4日(木) 諏訪社・稲荷社例祭
 6日(土) 第50回解剖諸霊位慰霊祭
 8日(月) 第50回実験動物供養祭
 13日(土) 一日体験入学(衛生学院)
 14日(日) 一日体験入学(衛生学院)
 15日(月) 一日体験入学(衛生学院)
 24日(水) I期試験(第5学年)
 30日(火) 発表会(大学院)
 30日(火) II期試験(第6学年)

フレンチレストラン開幕
 スペシャルイベント始める

小川真奈副支部長(8期生)の司会のもと開会しました。ご来賓として岐阜県歯科医師会会長、副会長、いつも懇意にしていた朝日大学歯学部同窓会岐阜支部と愛知学院大学歯学部岐阜同窓会役員の方々、松本歯科大学からは宇田川信之学長と校友会の原田寿久専務理事をお招きしました。

宇田川学長からは、歯科医師国試の結果や大学の近況等についてお話をいただきました。他のご来賓の先生方からも貴重なお言葉をいただきました。

懇親会では、宇田川学長は後輩の岩田副支部長と、学生時代の思い出話を嬉しそうに話されていたのが印象的でした。盛會となりましたが楽しいひとときはあっという間に過ぎ、来年の再会を誓いつつ、小川副支部長のお礼の言葉で閉会となりました。

〔岐阜県支部 8期生 高橋雅之〕

〔お知らせ〕
 第101回松本歯科大学学会(総会)開催
 日 時: 7月2日(木)
 会 場: 評議員会・総会: 601教室 16:30~
 一般講演: 本館1階学生ラウンジ 17:30~18:00
 プログラム: 一般講演(ポスター発表のみ)
 お問い合わせ先: 川原 一郎
 ichiro.kawahara@mdu.ac.jp

Matsumoto Dental University SNS Information

LINE QRコード

X QRコード

Instagram QRコード

facebook QRコード



特別メニューを調理する渡辺シェフ